

## 第25回 大谷山～田代峠

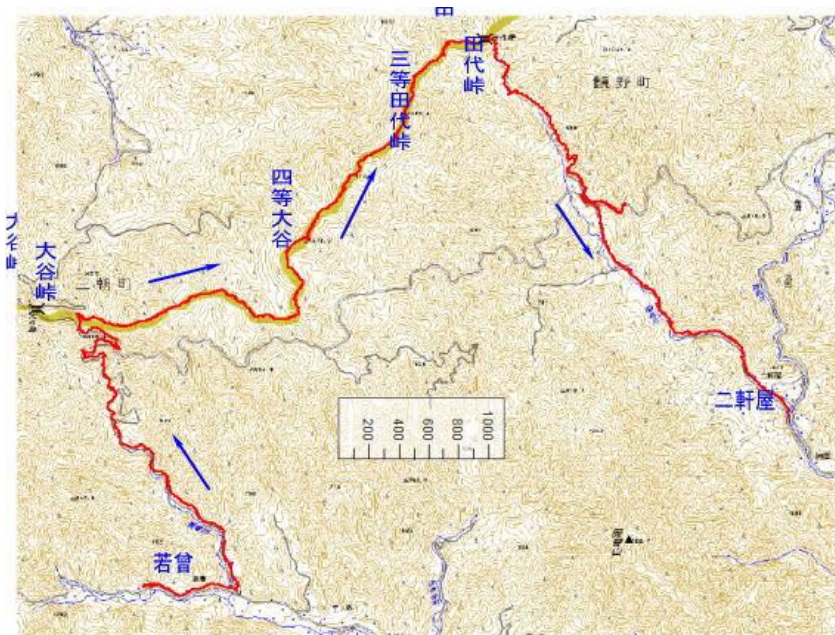
平成26年2月23日(日)晴

行程

若曾 8:37-県境赤テープ 10:58-1050ピーク 12:49-4等大谷 13:40-1108ピーク  
14:12-3等田代峠 14:53-田代峠赤テープ 15:36-二軒屋 17:20

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 丹治千束 佐々木順栄 佐々木靖昌  
西崎博子



一昨年12月に、広島鳥取岡山県境の三国山から始めた積雪期における中央分水嶺歩きも2シーズン目に入り、今日が累計24日目、分水嶺の踏破距離が100kmを越えました。今朝は岡山県鏡野町若曾から、林道を県境の大谷峠に向かいます。連日の夜間冷え込みのお陰で、雪が良く締まっておりツボ足です。これは今シーズン初めてのことで幸先が良さそうです。

県境繋ぎの目印に結んだ赤リボン点からはカンジキを履きました。雪下の根曲り竹にある踏み抜き箇所への備えと氷結部でのアイゼン代わりです。最近のカンジキは軽くて中々の優れモノです。急斜面の登下降や岩も乗り越えなければなりません、煩わしいヤブ漕ぎの稜線歩きでも機敏に動けます。

幾つものピークを乗り越えては下り、一山ずつ前進して行きます。その度に新たな感動があるのを今日も実感しました。青空と雪景色を堪能しながら、気持ち良く下ります。西方には今年歩いて来た蒜山三座から続く稜線がうねり、その奥に微かに大山も見えます。目を東に移すと、ゆきんこ隊が初期に歩いた岡山県内の雪山(恩原高原、三ヶ上山、妹山、花知ヶ山、湯岳、泉山)が迫ります。

田代峠を今日の終着点として赤リボンを結び、鏡野町二軒屋に下山しました。



## 第26回 田代峠～岡山森林公園

平成26年2月28日(金)曇

行程

泉源 P8:30－林道交差 9:42－田代峠 100m 上部稜線 11:44－1056P 12:04－きたけ峰  
12:31－1032P 12:20－千軒平 14:15－もみじ平 14:35－県境三叉路赤テープ 14:59  
－丸太橋 15:29－渡渉 15:50－管理センター 16:17－泉源駐車場所 17:44

隊員

船越 仁 角原 寛 赤木貴久子 角原鶴子 丹治千束



避して渡渉します。その方が早くて安全です。

さてその後、今日の大事件です。  
林道に出て振り向くと熊？が横断している。  
何枚もの望遠写真を見比べ、次週もここを通らねばならないことから、最終的にはイノシシと判定することにした。



GPSトラックの通り、田代峠への谷渡りポイントを通り過ぎてしまった。

次第に急峻になり、引き返すのを諦めて上に逃げた。田代峠の100m上部の稜線に着いてしまった。望遠で写した写真に、先日結んでおいた赤リボンが確認できた。

いよいよ森林公園に入る。何時のことかと思っていたが、案外早くこの地に着いたことに感慨一入である。

公園内の県境三叉路に着いた。今日は此处まで、赤リボンを付けて下ります。

所がその後の園内の丸太橋に一苦労しました。

雪を落として慎重に渡る。落ちたら、水深は結構あるよ。又、続いての丸太橋がありました。ここでは橋を回



## 第27回 岡山森林公園～人形仙～旧人形峠

平成26年3月4日(火)晴

行程

泉源 8:34 - 森林公園 9:54 - 県境三叉路赤テープ 11:37 - 霧ヶ峰分岐 13:29 - 1046ピーク 13:56 - 人形仙 14:17 - 母子地藏 15:01 - 車(人形仙登山口) 16:27

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 丹治千束 西崎博子



岡山県鏡野町泉源から冬季閉鎖中の森林公園に向かいます。4日前には下って来た同じ道です。森林公園内に2ヶ所ある雪で固まった丸太橋を回避し、安全の為に沢を渡渉しました。

3時間を要して県境稜線に辿り着くと、風が強く雪煙が舞い上がっています。耐風姿勢で留まる程ではありませんが、息を継ぐのが苦しい時もあります。それでも晴れているので、大山やそれに連座して見える蒜山がとても近くに見えます。冷えた空気が澄んでいるからなのでしょう。

今日の県境稜線はこれ迄になくならかです。その上、強風が追い風となり、案外楽に人形仙に着きました。ここから北斜面の下りは雪崩危険箇所です。

急なササ原斜面には沢山のデブリが見えます。昨日からの冷え込みで、薄雪の下はゴリゴリのクラスト、デブリも凍り付いています。一步一步慎重に、なお且つ機敏に下りました。本日の県境終着点である古道人形峠には母子地藏が鎮座しています。幼子を抱いたお地藏様に安全に下山出来たお礼をして、鳥取県三朝町木地山の国道179号線へ向けて谷道を下りました。朝、デポしておいた車から100m程の所でした。

## 第28回 人形峠～古人形峠

平成26年3月16日(日)晴

行程

人形峠 8:45－母子地藏昼食 11:30～12:03－林道登山口 12:21－上齋原 13:13

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 佐々木順栄 佐々木靖昌



今日は岡山県鏡野町の人形峠を出発点として、母子地藏が鎮座する古伯州往来の人形峠迄、3.3 kmを歩きました。出発地の人形峠は元国道179（現在は人形トンネルが国道）として山陰山陽を結ぶ幹線道路でした。ここは昭和40年代における小生の帰省道でもあり、往時繁盛していた峠の茶店の水槽には天然記念物のオオサンショウウオが何匹かいたのを思い出します。その後、動燃がウラン鉱石採掘から濃縮迄の実験プラントを操業したのも、これまた今や昔です。現在はアトムサイエンス館（入場無料）として存続していました。

峠の県境標識脇から我々カンジキ隊は6名で登り始めました。数日前の春雪がお色直ししてく

れ、真っ白な雪面にあるのは野兎の足跡だけです。キツツキも木の中の虫が動き出したのか、真新しい穴を幾つも開けています。踏みしめる心地よい雪の柔らかさ、静かに頬をなでる風、少し霞んだ青空はもう春山です。昨シーズンは雪が少なく、3月10日が最終（14回目）の積雪期県境踏破になったことを思えば、今年も同じ14回目ですが、今少し稜線を楽しめそうな残雪があります。

下山も前述の母子地藏からですが、この日のように暖かい日は、鳥取県側の谷道では雪崩の危険があります。距離は3.7 kmと長いのですが、安全な林道を岡山県側の上齋原に下りました。





## 第29回 人形峠～伯州山

平成26年3月22日(火)晴

行程

人形峠 8:30－清水高原 9:38－御林山 10:52－細尾根 11:37－P1046 霧ヶ原 13:18  
－伯州山 13:32－伯州山荘 13:40－赤和瀬 14:48

隊員

船越 仁 角原 覚 角原鶴子 佐々木順栄 佐々木靖昌



時期外れの新雪が30cmも積り、県境峠積雪情報では最深の1.2mとなった人形峠から東に向かいます。少し降り過ぎと云うのは罰当りで、嬉しい新雪も朝の内はまだ軽質のラッセルです。樹林の稜線、少しずつ高度を上げると約1時間で広大な雪原が開けました。清水高原です。左手には大山が目飛び込んできました。

カンジキを装着している時、その大山の裾野から携帯が鳴りました。親爺の体調が急に落ち、自力では立ち上がれなくなったとい

う。これまで農業一筋で、山仕事で山に入ることはあっても、朝に夕に眺める大山には一度も登ったことはありません。眺め崇めて郷土の誇りにしています。山は登る者だけの山ではありません。家族に心配をかけぬように、心して登山を楽しみたいものです。

広大な清水高原のあと、予期せぬ雪稜を乗り越えて、ブナの古木が立ち並ぶ御林山に到着しました。その後、核心部の雪庇リッジです。厳冬期に比べるとおとなしいようですが、一歩一歩確実に歩を進めます。約250mのこのリッジ区間は最初がナイフリッジ、大岩からは雲竜雪庇、終わりもナイフの3部に分れていました。



台地に上がりほっと大休止、

今日の新雪を良くぞここまで来ました。満足感に浸りながらの昼食です。あとは好天下の楽しいスノートレッキングで伯州山に到着しました。頂上標柱の伯州の文字を掘り出し、伯州山荘前から尾根伝いで下山しました。本日の歩程は9.7km、6時間45分でした。



### 第30回 伯州山荘～カツラ谷～萱峠

平成26年3月27日(木) 雨のち晴

行程

赤和瀬 8:51 - 尾根取付 9:30 - 伯州山荘 10:34 - P960 11:48 - P1086 大杉昼食 13:17 - 細尾根① 14:06 - 細尾根② 14:41 - 萱峠 15:17 - 岩井滝 P16:58 - デポ地点 17:29  
隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 西崎博子



5 日前に下った尾根を伯州山に登ります。予報では朝方上がる筈の雨ですが、その気配はありません。昨日 30mm も降った雨で、所々にイワウチワの丸い葉っぱが現れています。この伯州山はイワウチワの群生地で、近年人気の山になりました。目を凝らすと、早くもピンクの蕾が1つ2つ覗いています。

今日の県境稜線は東の恩原三国山方向に延ばします。山全体にはまだ十分な積雪があるのですが、稜線の竹が起き上がると分水嶺踏破は出来な

くなります。今日が今シーズンの締めくくりになりそうなのに、小雨で視界も乏しいです。そんな中、県境と分水嶺をはっきり解離した場所に到着しました。県境線 450m が鳥取県三朝町側のカツラ谷の先端を横切っています。私達は勿論分水嶺を歩きますが、昨シーズンの新見市二子山でも同様な箇所がありました。

幹回り6ヒロ以上の県境の大杉のたもとで大休止です。遅い昼食をとっていると、日が射し始め一気に明るくなって来ました。この後、細い雪稜リッジが2ヶ所ありましたが、今日の雪は良く締まっていてカンジキの爪がしっかり効いてくれました。この細尾根は厳冬期ならどんな様相を呈しているのだろうか。相当厳しい雪庇になっていると思われる。

遅くとも稜線歩きは3時迄と決めています。3時17分に到着した萱(カヤ)峠に赤リボンを結び、今日の、否今年の終着点としました。本日の歩程は13.2km、8時間38分でした。

